



日本スーパーマーケット協会

平成27年2月 マンスリー レポート

集計企業数 60 社

① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	50,650,835 万円	100.0%	102.9% (103.7%)	48,866,274 万円	100.9% (101.9%)
食 料 品	43,475,605 万円	85.8% (83.9%)	103.5% (105.0%)	41,837,800 万円	101.3% (102.8%)
農 産	6,477,076 万円	12.8% (12.6%)	103.1% (103.4%)	6,232,840 万円	100.8% (101.3%)
水 産	4,264,349 万円	8.4% (8.8%)	107.1% (106.4%)	4,098,855 万円	104.5% (104.0%)
畜 産	5,474,722 万円	10.8% (10.8%)	107.4% (109.3%)	5,248,407 万円	104.8% (106.7%)
惣 菜	4,846,774 万円	9.6% (9.4%)	109.4% (108.0%)	4,634,734 万円	106.6% (105.3%)
日配食品	9,509,366 万円	18.7% (18.3%)	101.6% (104.5%)	9,162,001 万円	99.5% (102.6%)
加工食品	12,903,319 万円	25.5% (24.0%)	100.5% (102.6%)	12,460,964 万円	98.5% (100.8%)
生活関連	3,164,830 万円	6.3% (6.6%)	97.8% (99.8%)	3,086,651 万円	97.2% (99.4%)
衣 料 品	1,315,892 万円	2.6% (3.3%)	96.0% (92.5%)	1,299,673 万円	97.3% (92.4%)
そ の 他	2,694,508 万円	5.3% (6.2%)	102.3% (98.2%)	2,642,150 万円	102.4% (98.0%)

② 数 値

全店総売上高	50,650,835 万円	店 舗 数	4,721 店舗
総売場面積	9,282,612.7 m ²	総従業員数	251,333 人

店舗平均月商	10,728.8 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,859 円 (99.2%)
月間m ² 売上(前月)	5.5 万円 (5.9 万円)	平均店舗面積	1,966.2 m ²
月間坪売上(前月)	18.0 万円 (19.5 万円)	パート比率(前月)	77.9% (78.3%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

《 全体概況 》

- ・ 昨年は2度の大雪（7日～8日、14日～16日）があり、特に関東甲信地方を中心に過去最深積雪を記録したが、今年は日本海側の降雪量も少なく北日本日本海側では1961年の統計開始以降で最も少なかった（平年比49%）。
- ・ 積雪対策での需要や消費税増税前の駆け込み需要の反動なども一部商品に現れた。
- ・ アメリカ西海岸の港湾労使契約問題が畜産、青果の品揃えなどにも影響。

《 商品動向 》

○ 農産

- ・ トマトを始めとするサラダ系は好調。
- ・ 白菜、キャベツ、大根などの大型野菜は不調。
- ・ いちごが単価上昇もあり好調の反面、みかん不調。デコポンは比較的順調。
- ・ アメリカ西海岸の港湾労使契約問題が、輸入フルーツ（オレンジ、グレープフルーツなど）の入荷に影響。バナナ、国産キウイフルーツで対応。

○ 水産

- ・ 刺身関連は全般に良好。高価格帯商品の伸び率も寄与。
- ・ 季節商品のブリ、たらは切り身、鍋物、味付け、しゃぶしゃぶなどの提案で順調。

○ 畜産

- ・ 牛全般（ステーキ、焼き肉、すき焼きなど）が牽引。
- ・ 豚しゃぶしゃぶ、焼き肉なども堅調。
- ・ アメリカ西海岸の港湾労使契約問題で、輸入牛、輸入豚などに商品ショート、入荷遅れもあり国産の価格上昇。円安の影響で豪州産も上昇傾向。

○ 惣菜

- ・ 握り寿司が好調。節分もあり太巻き、中巻きも売上寄与。
- ・ カキフライ、焼き鳥も堅調。
- ・ グラタンなどのホットデリカ、受験生応援のカツ関連を展開。

○ 日配・加工食品

- ・乳酸菌飲料、機能性ヨーグルトなどが引き続き好調。
- ・冷凍食品、カップ麺、缶詰、乾麺などは昨年の大雪需要での反動減。
- ・マスコミ効果でプレミアムオイル（ココナッツオイル、エゴマ油など）や洋酒（ウイスキー）が引き続き堅調。
- ・値上げ報道のあったケチャップなどの需要がスタート。

○ 「節分」について

- ・太巻き、中巻きの HALF セットの動きが良好。妖怪ウオッチ巻きは大きく伸長。
- ・高価格帯商品が堅調に推移。
- ・豆関連では、健康指向からアーモンドなども関連販売。
- ・いわし、恵方ロールなどのスイーツは昨年並み。

○ 「バレンタインデー」について

- ・購入動機が多様化。義理チョコは土曜日だったこともあり大幅減。友チョコ、家族チョコ、ご褒美用の自分チョコなどの購入比率が年々増加傾向。
- ・GODIVA やホテルブランドなどの高価格帯が引き合い堅調。マスコミ効果もあり洋酒入りチョコも好調。

以 上